



『令和 6 年度 事業実績』の公表

令和 6 年度の事業実績を、以下のとおり公表します。

《令和 6 年度事業実績》

	件 数 (前年度比)	金 額 (前年度比)
保 証 承 諾	21,603 件 (98.9%)	3,282 億円 (93.6%)
保 証 債 務 残 高	111,225 件 (98.9%)	1 兆 2,077 億円 (94.6%)
代位弁済 (元利)	1,686 件 (90.5%)	177 億円 (90.0%)

保証承諾について

令和 6 年度の保証承諾は 21,603 件、3,282 億円で、前年度に比して件数で 247 件減少(前年度比 98.9%)、金額で 226 億円減少(前年度比 93.6%)した。

令和 4 年度・5 年度ともに保証承諾(件数・金額)は増加したが、令和 6 年度は減少に転じた。

令和 6 年度第 1 四半期の保証承諾金額は 902 億円(前年同期比 113.7%)となり、前年度を上回る保証承諾となった。これは、物価高騰の影響が長期化する中、令和 6 年 3 月から 4 月にかけて新型コロナウイルス感染症対応資金(以下、「ゼロゼロ融資」)の返済開始を迎える中小企業・小規模事業者が集中していたこと、「伴走支援型保証制度」が令和 6 年 6 月 30 日をもって受付終了となることから、同制度等を活用した借換により資金繰りの安定を図るべく、駆け込みでの申込みが集中したものである。

一方で、第 2 四半期以降は、「伴走支援型保証制度」の駆け込み申込みの反動により保証申込は減少した。これに伴い、第 2 四半期から第 4 四半期までの保証承諾金額は 2,380 億円(前年同期比 87.7%)と前年度を下回り、第 3・第 4 四半期は月別保証承諾額で前年度同月を上回る月はなかった。

保証債務残高について

令和 6 年度末の保証債務残高は 111,225 件、1 兆 2,077 億円で、前年度末より 1,227 件減少(前年度比 98.9%)、金額で 694 億円減少(前年度比 94.6%)した。

「ゼロゼロ融資」の返済等により、償還金額が保証承諾金額を上回ったため、保証債務残高は減少が続いている。

なお、令和 6 年度末の利用企業者数は 58,338 企業で、前年度末と比較して 245 企業の減少(前年度比 99.6%)となった。

代位弁済（元利）について

代位弁済（元利）は 1,686 件、177 億円で、前年度に比して件数で 176 件減少（前年度比 90.5%）、金額で 20 億円（前年度比 90.0%）減少した。

令和 4 年度・5 年度ともに代位弁済（件数・金額）は増加したが、令和 6 年度は減少に転じた。これは、「伴走支援型保証制度」等を活用した借換により資金繰りの安定が図られたことが要因であると分析している。

ただし、物価上昇の影響長期化等、先行きが不透明な状況が続くものと予測される中、代位弁済のピークを越えたとは言いがたく、今後の経済状況を注視しながら引き続き資金繰りの安定や経営改善支援を行っていくことが重要であると捉えている。

今後に向けて

中小企業・小規模事業者を取り巻く経済環境は、物価上昇の影響長期化、人手不足の深刻化や金利上昇に伴うコストの増加、さらには海外情勢に起因する新たなリスクも懸念され、依然として厳しい状況が続いている。

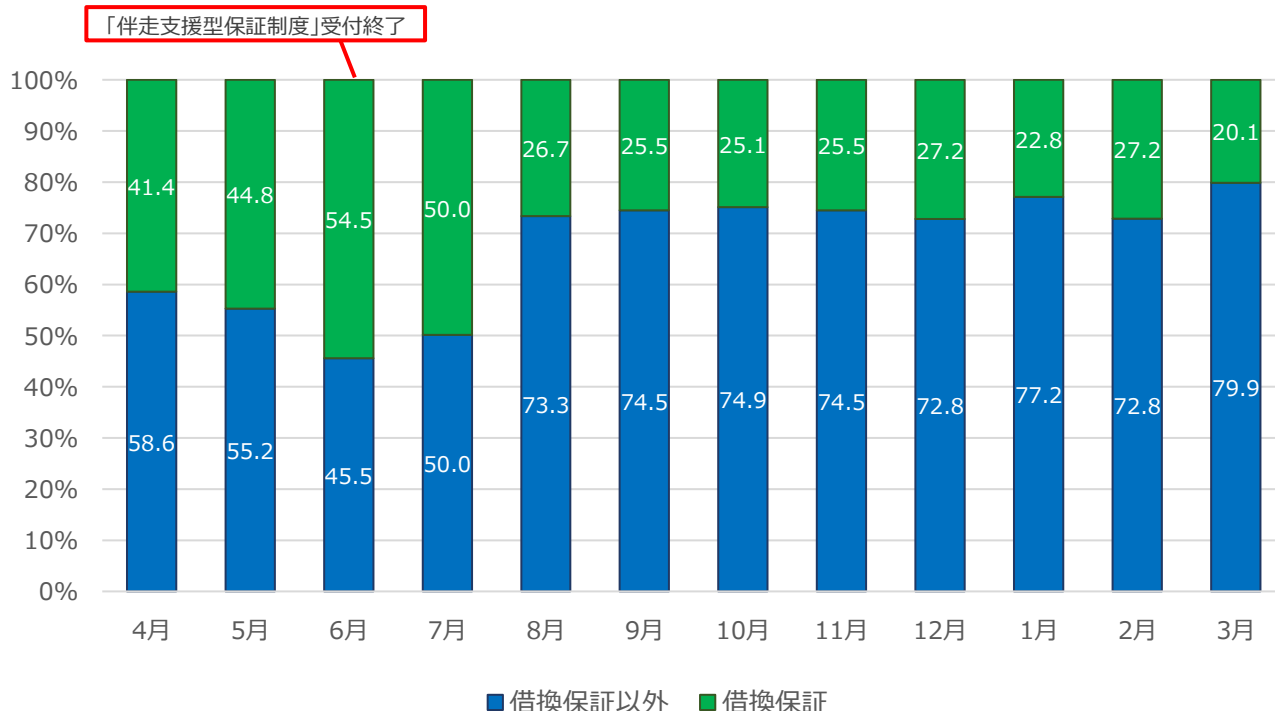
このような中、当協会は、金融支援面では、資金繰りの安定化に向けた支援を引き続き行うとともに、多様化する経営課題を克服し持続的な成長を目指す事業者の資金需要に積極的に応えていく。加えて、令和 7 年 3 月に創設された「協調支援型特別保証制度」を活用した金融支援に取り組む。

また、経営支援面では、中小企業・小規模事業者との対話を通じて事業者の経営課題を早期に把握し、金融機関・中小企業支援機関・外部専門家等と連携しながら、事業者の実情に寄り添った経営改善支援を提案していく。

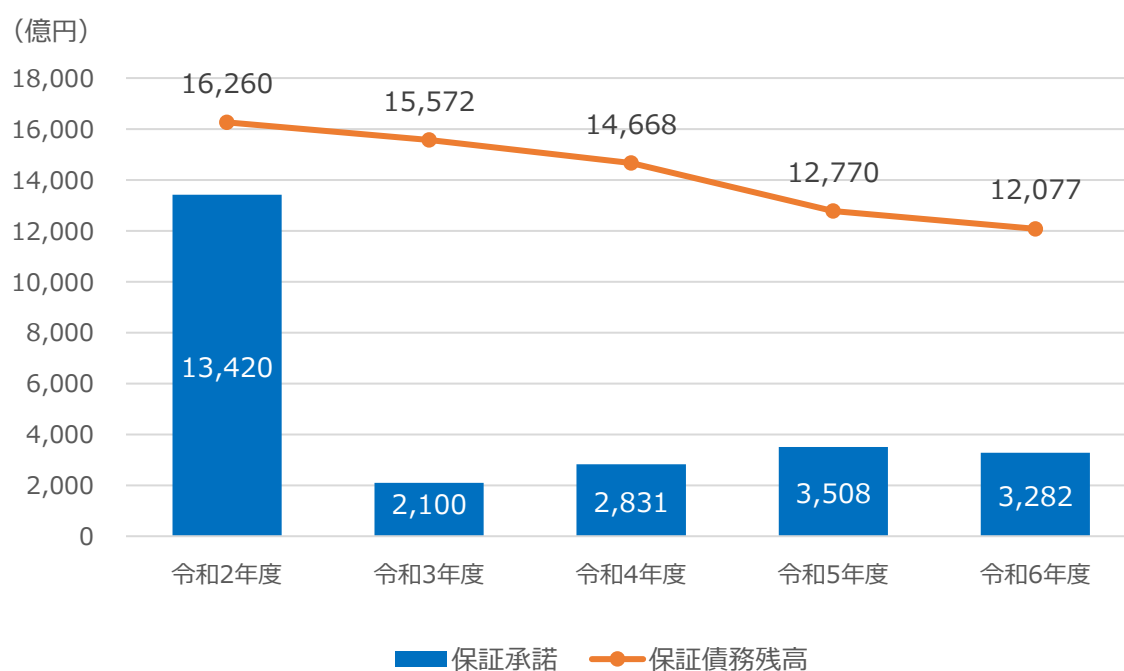
こうした取り組みを通じて県内の中小企業・小規模事業者の事業継続・発展に貢献していきたい。

《参考》

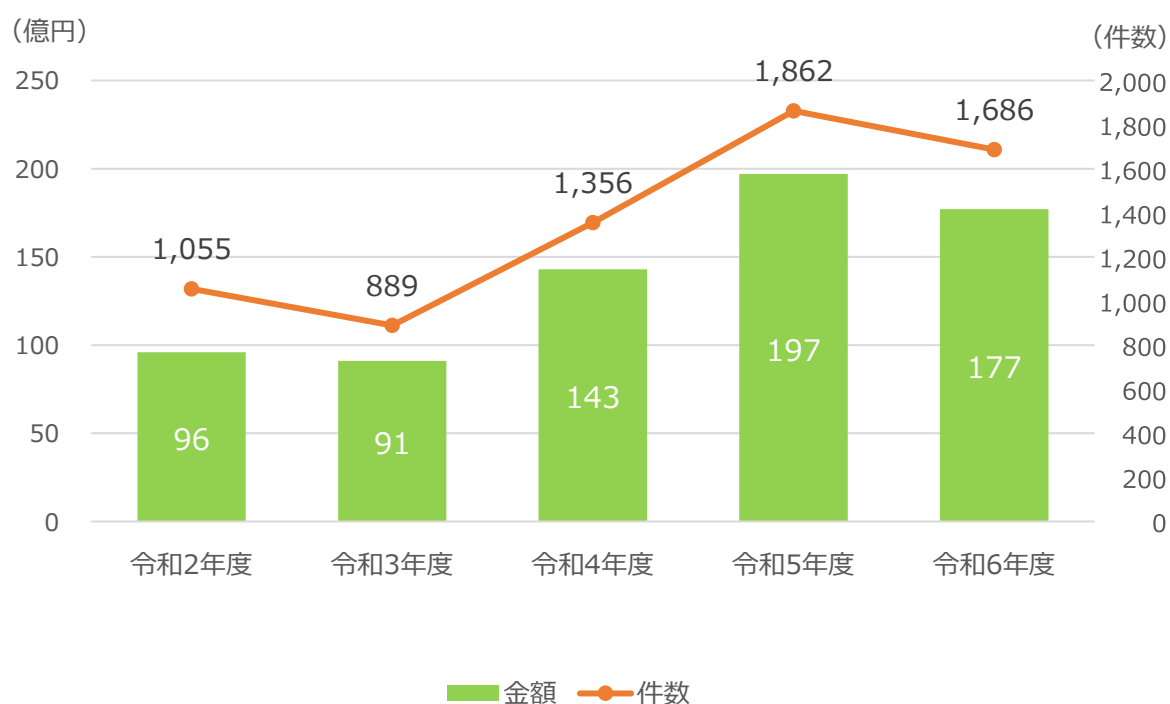
① 令和 6 年度の借換有無別保証承諾の推移



② 保証承諾と保証債務残高の推移



③ 代位弁済金額と件数の推移



＜本資料の問い合わせ先＞
 企画総務部 企画課 担当：三井・新井
 TEL：048-647-4712